

2026年 岐阜県下経済三団体新春合同記者会見

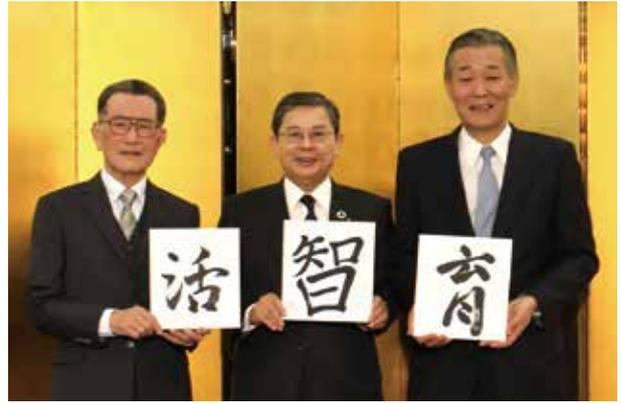
「智」を磨き変化に挑む

1月16日(金)、岐阜グランドホテルにおいて、岐阜県商工会議所連合会、岐阜県経営者協会、岐阜県経済同友会による新春合同記者会見を行いました。三団体のトップは、今年の活動方針について説明し、決意を表す漢字一文字を披露しました。

岐阜県商工会議所連合会の村瀬幸雄会長は、基本方針について次のとおり発表しました。

今年の漢字

「智」は、物事の本質を照らす力という意味を持ちます。AIの進化等、歴史的転換点において、膨大なデータや(知)をAIという光で照らし、人間の創造性と融合させ「新たな価値」へと昇華させる、この現代の「智」こそが停滞を打破する鍵となります。今年一年、経済界が結束してこの力を磨き、10年、20年後の岐阜経済が「あの時、新しい未来が始まった」と振り返ることができる、輝かしい一年にしたいと思っています。



1 中小企業等の支援について

中小企業・小規模事業者の持続的成長は地域経済の原動力です。人口減少や物価高等の環境変化の中、県内15の商工会議所が一体となり、行政と連携して下記4項目を重点に事業者の挑戦を後押しします。現場に寄り添った支援を展開するとともに、地域の声を国や自治体の施策に反映させ、地域経済全体の活性化を目指します。

(1) 持続的な賃上げと価格転嫁の定着 (2) 事業承継・事業継続への支援 (3) 創業・スタートアップ支援の推進 (4) 販路開拓・海外展開支援

2 観光振興について

岐阜県は豊かな自然と交通の要所としての歴史を持ちます。地域の歴史や食を活用して観光を高付加価値化し、収益が地域全体に還元される「持続可能な観光」を推進します。デジタル技術やSNSの活用で事業者の生産性を高めるとともに、体験型観光やモデルルートの提案を通じて滞在時間の延長と満足度向上につながる取組を後押しします。

(1) 観光の高付加価値化・産業化 (2) SNS発信強化と観光DXによる滞在型観光の促進

3 社会・産業基盤の整備促進について

岐阜県は広大な県土を有するため、物流・観光・防災等のあらゆる分野でインフラ整備が不可欠です。道路網の整備促進に加え、リニア中央新幹線の早期建設と「リニア岐阜県駅」を核とした広域的な地域活性化を推進します。さらに、中部圏の経済を支える中部国際空港の2本目滑走路建設に向け、強力に要望活動を展開します。

(1) 東海環状自動車道・岐阜南部横断ハイウェイの整備促進 (2) 中部縦貫自動車道・濃飛横断自動車道の整備促進
(3) リニア中央新幹線の建設促進および地域活性化の推進 (4) 中部国際空港2本目滑走路建設促進

